



### 自然災害時の避難所運営や防災計画等について

養田 庸子 (日本共産党)



**問** 戸建ての耐震診断や耐震改修は、どれくらい実施しているのか。

**答** 令和元年以降、耐震診断の件数は15件、耐震改修は建て替えと改修を合わせて23件実施した。

**問** 直近の避難訓練実施における課題は何か。

**答** 新型コロナウイルス拡大影響による参加者の減少や訓練内容の充実が課題である。

**問** 防災担当職員の女性の割合は。また、女性を配置した避難所運営の計画、意思決定の場に女性が加わることはあるのか。

**答** 担当職員は全員が男性である。避難所運営の意思決定の場に女性が加わることは必要と認識している。

**要望** 災害時、女性が避難所運営の話合いに参加できないところでは、支援の質が低下しやすい。「避難所における男女共同参画の推進」の視点で計画を進めてほしい。

**問** ペット同伴の避難所の設置について、計画はどのように進んでいるのか。

**答** 1次避難所においてペット同行避難を受け入れるよう施設の検討を行っている。長期の避難所開設には獣医師会やその他の専門機関と連携するよう努める。

**要望** 地域防災計画に、①木造住宅の耐震化への取組、②実効性のある避難訓練の実施・リーダーの養成と配置、③避難所の運営に女性の参加を早急に進めることを要望する。



### 不燃ごみの分別について おたふくかぜワクチンの助成について

柳田 光芳 (公明党)



#### 【不燃ごみの分別について】

**問** 事業系ごみ及び一般家庭ごみの危険物の混入状況は。

**答** 事業系ごみについては、一定の危険物の混入が確認されたが、指導通知後、ガスボンベなど危険度の高い廃棄物の混入は確認されていない。一般家庭ごみにおいては、ガス抜きされていないガス缶や充電式電池等の混入が確認されたが、減少傾向にある。

**問** 分別の周知や注意啓発のほかに、資源物収集に合わせて、危険物を新たに回収する方法やステーションに危険物回収ボックスを設置する考えは。

**答** 危険物の新たな回収方法については、他市町の事例を確認しながら、環境美化推進員や地区役員の方々、収集運搬事業者の意見を参考に検討を進めていく。



▲発火や爆発のおそれがある危険物

#### 【おたふくかぜワクチンの助成について】

**問** 本市における令和5年度のおたふくかぜの罹患状況は。

**答** 天草保健所管内で3件確認されている。

**問** 感染拡大を防ぐ観点からも、ワクチンへの助成が必要と考えるが、見解は。

**答** 副反応に関するデータなど調査研究が必要とされているため、国の動向を注視しながら、おたふくかぜワクチン接種に対する助成が必要か検討していきたい。



### 瀬戸歩道橋及び都市計画道路太田町水の平線の整備について

平山 泰司 (政友会)



#### 【瀬戸歩道橋の整備方針について】

**問** 瀬戸歩道橋は昭和53年に建設されてから、すでに46年が経過しており、架け替えの検討も必要な時期ではないかと心配している。多くの高校生も利用しており、地域住民にはなくてはならない橋である。今後、この橋が使えなくなるような状況になった場合は、市長はどのように考えているのか。

**答** 本歩道橋は、歩行者及び自転車等の利用者において、なくてはならない重要施設である。全国的にも珍しい昇降式可動橋の形式であり、本市の重要な資産であると考えている。このような本歩道橋の特性も踏まえ、改修後においても適正な点検整備を行いながら、市民生活に直結する道路等の生活環境の維持・保全に努めていきたい。



▲住民生活に重要な瀬戸歩道橋

#### 【都市計画道路太田町水の平線について】

**問** 現地を確認したところ、現在拡幅工事が着々と進んでいるように見える。関係者のご努力に感謝申し上げます。太田町水の平線の今後の工事の予定、供用開始時期はどうなっているのか。

**答** 地元関係者の方々にご協力をいただき、昨年10月にすべての事業用地の取得を終えて、整備延長710mのうち、約380mの道路拡幅工事を完了している。今後は、歩道舗装工事及び照明施設工事を実施し、令和6年度末の供用開始を目指している。



### 天草市の観光振興について問う

浜崎 昭臣 (政友会)



**問** 施政方針でTSMCの熊本進出は、本市にとって大きなチャンスと述べられたが、市長の所見を問う。

**答** 関係団体とも連携して誘客に努める。

**要望** 誘客に対する意気込み、具体策がない。水俣市は、昨年11月から台湾人観光客を呼び込む動きを始めている。この好機を生かすべき。

**問** 「夕陽の駅」を下田温泉交流館ぷらっとや崎津集落ガイダンスセンターに併設、また、牛深に新設できないか。

**答** 具体的に夕陽の駅とすることまでは考えていないが、夕陽の認知度向上に努める。

**要望** 国立公園指定70周年に合わせて実現する事を強く要望する。

**問** 出水駅～蔵之元港間シャトルバス乗客数は、平成25年度に1万人突破してから10年以上足踏み状態だが、南の玄関口に対する本気度を問う。

**答** 集客を図っていくために、福岡・鹿児島方面から新幹線を利用し、天草に南から入るルートをメディアやSNSを活用して周知していきたい。

**問** 「天草空港」を「天草四郎空港」への愛称化の考えは。

**答** 「天草」という名称自体がブランド化して確立されているので「天草空港」が最も適していると考えている。

**問** 複数を組み合わせることでシナジー(相乗効果)が生まれ、「阿蘇くまもと空港」「徳島阿波おどり空港」「高知龍馬空港」等がその例である。天草空港利用促進協議会の意見を尊重する考えはないか。

**答** 提案された場合は、協議会委員の皆さんにご検討いただくことになると考えている。



▲天草エアライン「みぞか号」